

令和3年度

小・中学生フォーラム in 淀橋第四小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月13日（火）、淀橋第四小学校（北新宿3-17-1、校長：久保田恵美）の6年1組27名、2組30名が、「世界友達プロジェクト」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

新宿にやってくる外国人に気持ちよく過ごしてもらうため、新宿を好きになってもらうためにできることについて、班ごとに分かれて提案しました。提案では、「日本の文化や習慣を伝える」「新宿の有名な場所の絵はがきをつくる」「内藤とうがらし、内藤かぼちゃを広める」「多言語表示を増やす」「ポイ捨てゴミを減らす」などが挙がりました。

提案のあとは、区長との意見交換を行いました。児童たちからは、「自分たちの提案の中で実現できそうなものは何か」「提案をもっと実現しやすくするためにどうしたらいいか」などの発表に関するものだけでなく、「区長が思う新宿区の良いところは何か」「新宿区を住みやすいまちにするためにどのような取組みをしているか」など、幅広い質問が挙がり、区長もそれぞれの質問にしっかりと答えました。区長からは「もともと宿場町だった新宿には、外から来た人を受け入れる土壌がある。そして、そのまちの良さを相手に伝えるためには、まずは自分が良さを知ることが大事だ。」と話がありました。

始めは緊張していた児童もいたようでしたが、発表や意見交換を通じて、徐々に積極的に発言するようになっていきました。自分たちの住むまちの良いところ、課題を見直し、よりよくするために自分たちにできることを考える良い機会となり、有意義なフォーラムとなりました。

